



十中だより

9月号

令和5年 9月 5日

文京区立第十中学校

校長 南 英昭

猛暑を乗り越えて



42日間の夏季休業期間が終了し、9月1日(金)より2学期が始まりました。今年の夏は、全国的に厳しい暑さが続き、東京でも猛暑日(35度以上の日)が観測史上最多となるなど例年以上の酷暑となりました。そのような状況下でも生徒はそれぞれ、制限のない充実した夏休みを過ごすことができていたのではないのでしょうか。学校では、夏休み中でも部活動や補充教室で登校した生徒の元気な姿を見かける機会が多くありました。特に部活動では、熱中症対策を施しながら、自分たちの目標に向けて熱心に活動する様子を目にすることが多々ありました。夏休みの前半は、3年生の最後の大会があり、夏休み後半は、1, 2年生による文京区の総合体育大会も行われました。どの部もそれぞれの大会や発表会に向けて、日々の活動の成果を十分に発揮することができたのではないのでしょうか。今年の厳しい夏を乗り越えて、一回り成長した姿をみせてくれることを楽しみにしています。



あきらめない心とは

始業式で、スペインの「鎖につながれた象」から、自ら限界を決めてあきらめていることはないか皆さんに問いました。そして、やる前からあきらめず、挑戦することの大切さについて話をしました。

今、バスケットボールでも同じように「あきらめない心」が話題になっています。それは、ワールドカップで今までほとんど勝つことができなかった日本チームが、今回は3勝することができ、そのうちの2勝が、奇跡的な大逆転だったからです。フィンランド戦18点差(残り12分44秒時)、ベネズエラ戦は15点差(残り8分8秒時)と普通であれば逆転は難しい状況からの勝利に、大きな驚きと感動を与えてくれました。その試合での「あきらめない心」をたたえる声が多くありました。

ところで「あきらめない心」とは何でしょう。そもそも「あきらめない」ということは、負けていたり、劣勢だったりする状況下での心理状態ということになります。ここでいう「心」は、感情だけでなく行動も含まれています。試合中に、ただ思っているだけでは何も変わりません。思いと行動をほぼ同時に行わなければなりません。「あきらめない心」とは、状況が良くない、結果が出ないときに「**いかに最善の行動を継続することができるか**」ということだと私は解釈しています。生活の中でもうまくいかないことや結果が出ないことは、少なくありません。そのときに、どのように考え、どのように粘り強く行動するかで、その先の結果に大きく影響します。生徒が、自分を成長させるために、少しでも「あきらめない心」で行動してくれることを願っています。

防災の日

9月1日は、大正12年の関東大震災が起こった日です。その日からちょうど100年が経ちました。当時は、地震による家屋倒壊などの直接的な被害もありましたが、火災による被害も伝わってきています。当時と今では生活様式も変わり対策や注意すべき点も変わってきています。また、東日本大震災や多くの風水害を教訓に常に防災に関する最新の知識と備えと行動力が必要です。今回、実践的な訓練として、**引き渡し訓練**を文京区内一斉に実施しました。区の防災基準では、震度5弱以上の地震が発生した場合、保護者の方が引き取りに来るまで学校で生徒を保護しておくことが原則になりました。その訓練のため、保護者の方にご協力いただき実施することができました。訓練を通して、災害時の知識と技能を高めて参ります。保護者の皆様には、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。



体育館への避難時の様子

表彰、活動報告等

活動の名称	実績・連絡・案内等
男子バレーボール部	文京区総合体育大会 第3位
バスケットボール部	東京都夏季選手権大会出場（女子） 文京区総合体育大会 [男子]出場 [女子]第3位
ソフトテニス部	東京都夏季選手権大会出場（女子団体） 文京区総合体育大会（女子団体）優勝
卓球部	東京都夏季選手権大会出場 個人男子3名、女子4名 関東大会出場（山梨県） 女子1名 個人シングルス 文京区総合体育大会 (団体)男子 優勝 (個人)男子 第2位、第3位、第4位 女子 第1位、第2位
バドミントン部	文京区総合体育大会 (団体)男子 第2位 (個人)男子シングルス 第2位 男子ダブルス 第3位 女子ダブルス 第2位 <1年生大会> 男子シングルス 第3位 女子シングルス 第1位
吹奏楽部	東京都中学校吹奏楽コンクール金賞(3年連続) 文京区中学校連合演奏会出演
水泳	関東大会出場（東京都） 男子1名 50m、100m自由形

〈部活動の大会等で活躍した2名の思いを紹介します〉

[関東大会出場]

卓球部 2年

昨年、あと一歩で関東大会というところで負けてしまいました。その悔しさを忘れずに毎日の練習を頑張っていて、今年は関東大会に出場することができました。関東という大きな舞台上、自分の力を十分に発揮することは難しかったですが、とても良い経験になりました。

また、応援してくださった方々に本当に感謝しています。これからも頑張りますので、よろしくお願いいたします。

[吹奏楽コンクール3年連続金賞]

吹奏楽部 部長 3年

私たちがコンクールで演奏した「『GR』よりシンフォニックセレクション」という曲は、今まで十中吹奏楽部が苦手としてきた、和音やハーモニーが輝く曲でした。挑戦であったこの曲で、私たちの大きな目標だった「3年連続金賞」をいただけたことをとても嬉しく思います。5月から練習を重ねていく中で、顧問や部活動指導員の先生の心のこもったご指導はもとより、他の先生方や卒業した先輩方の応援も励みになり、中学校最後のコンクールで、とても良い思い出を作ることができました。

数十人で1つの曲を作りあげる吹奏楽では、チームワークがとても重要です。コンクールが終わり、私たち3年生の引退が近づいてきて、今のメンバーで演奏できる時間も残り少なくなりました。練習時間も本番も、休み時間も、部員と過ごせる時間を大切にして、これからも部活動を世界一楽しんでいきたいと思っています。